アイゼット電子安定器
蛍光灯電子安定器（器具内用）

取扱説明書
保管用

品　番	灯　数	適　合　ラ　ン　プ	重　量
IZ-STK0401	1	ＦＬＲ４０Ｓ／３６	300g
IZ-STK0402	2		
IZ-FH0401	1	ＦＨＦ３２	
IZ-FH0402	2		

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施　工　説　明　工事店様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警　告

●施工は、取付方法にしたがい確実に行なってください。施工に不備があると落下・感電・発火の原因となります。
●安定器の二次側には、高電圧を発生しているものがありますので、取付工事、ランプ交換時は必ず電源を切ってください。
活線作業をしますと感電等の原因となります。
●安定器の二次側を器具に接続しないまま放置しないでください。
施工途中やむを得ず二次側に結線しない場合、電線を切断したままで、一括して絶縁処理をしないで、電線を１本１本に分けて確実に絶縁処理してください。一括して絶縁処理しますと電線切断面で放電が起こり電線が焼損し火災の原因となります。
●器具を改造しないでください。落下・感電・発火の原因となります。
●管灯回路線内に中間ジョイントとしてコンセント等の接続器を使用しないでください。
高周波電圧や、高電圧パルスによる絶縁破壊により火災の原因となります。
●安定器の構造を変換したり、ケースを開けたりしないでください。
故障の原因となるばかりでなく、感電、発煙、発火等危険が生じる原因となります。
●電線を接続する場合、ゆるみ、抜けのないように（圧着接続等）確実に接続してください。なお、速結端子を有する安定器を接続する場合、次のことを守って行なってください。接続が不完全ですと、接続部から焼損や火災の原因となります。
1. 電線は指定の電線を使用してください。
2. 電線の被覆は、指定された剥き代に合わせて剥いてください。
3. 電線を１本づつ奥まで確実に差し込んでください。
●電線あるいは絶縁処理部に刃物等による傷を付けないようにしてください。
傷が付いた状態で使用されますと、絶縁破壊により漏電、感電、火災等の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±６%）・周波数以外の電源で使用しないでください。感電・火災の原因になります。
●器具を密集して取付けないでください。密集して取付けると、過熱により火災の原因となります。
●器具を連結される場合の送り配線は必ず天井面を通して行なってください。
安定器の熱により、電線が過熱し、感電・火災の原因となります。
●安定器は必ず適合するランプと組み合わせてご使用ください。
同じワット数のランプでも種類が異なると始動しなかったり、ランプの破損や、短寿命、
あるいは過電流による安定器の短寿命の原因になることがあります。ランプの破裂・発火の原因となります。
●振動や衝撃のある場所で使用する場合は、金属疲労やネジの緩みによる落下を防止する対策を施してください。
対策を施さないで使用すると、落下によるケガの原因となります。

⚠ 注　意

●器具内専用です。器具外・別置きでは使用しないでください。故障・感電・発火の原因となります。
●グローランプを経由した配線をした場合は、点灯不良となりますのでご注意ください。
●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、
腐食性のガスの発生する場所では、使用しないでください。　落下・感電・火災の原因となります。
●引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃スプレー・シンナー・ラッカー等）では使用しないでください。
火災・爆発の原因となることがあります。
●粉塵の多いところでは使用しないでください。発火の原因となることがあります。
●周囲温度は、５～３５℃以外では、使用しないでください。　ちらつきや短寿命の原因となります。
●安定器には必ずＤ種（第３種）接地工事が必要です。感電の原因となります。
●紙や布など安定器の上に置いたり、かぶせたりしないでください。
●人感センサー・調光器・非常灯には使用しないでください。
●誤って落下させた安定器は使用しないでください。

使用上のご注意

●安定器取り付け対象器具について
適性交換時期を越えた器具に対して使用しないでください。故障・感電・火災の原因になります。
器具診断を行なって使用してください。
●インバータと漏電ブレーカの組合せについて
インバータは、従来の銅鉄安定器より高周波の漏洩電流が大きくなります。
この為旧タイプの漏電ブレーカではトリップする場合があります。
インバータ使用の場合は高周波対応型漏電ブレーカをご使用ください。
●ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
※インバータを使用したときの雑音について
インバータでは高周波でランプを点灯しており、商業周波数に比べランプからの輻射雑音が多くなります。
これらの雑音により音響・映像機器などに影響を与える場合があります。
影響の程度は、器具台数、器具配置、AV機器の種類により異なりますが、
一般的に考えられる問題点及び対策方法は次のとおりです。
（インバータの周波数は、JIS C8117 及び（財）家電製品協会に定められている
「基本周波数及びその高周波が33kHz未満又は40kHz超」を使用しています。
（１）ラジオへの雑音
受信電波が弱い場合には雑音が入る場合があります。ラジオを器具から十分離し、
短波放送では室内アンテナをご使用ください。
（２）音声・映像信号への雑音
放送設備などの音声信号や映像信号は微弱な為、電源線や安定器の二次側配線からの雑音を受けることがありま
す。音声・映像信号はシールド線を用いて配線するか、信号線と電源線や、安定器の二次側配線とは十分距離を離し
て施設してください。また、機器のアースは必ず取って使用してください。
（３）赤外線式リモコンとの干渉
赤外線式のリモコンを利用した機器とは、昭和60年4月以降、使用する周波数をわけおり通常使用状態では問題なく
使用できますがランプがリモコン受信部に近すぎる場合には、誤動作や非動作がおきる場合があります。
リモコンの受信部には、できるだけランプの光が入らないように配慮してください。
（４）ワイヤレスマイクへの雑音
使用条件により雑音が入る場合がありますので、下記の事項に注意して施工してください。
・アンテナとマイクの間に金属物、柱などの障害物をおかない。（輻射電波を直接受信できる位置にアンテナを設置する）
・アンテナの指向性をマイク感度のとれる方向に置く。
・アンテナの位置をランプから離す。
・マイクの出力を上げる。
（５）ＯＡ機器に対する影響
一般的な使用条件においてＯＡ機器にのある部屋でインバータを使用しても問題はありませんが、使用する機器が電波
雑音に弱い場合や、照明器具のすぐ近くに機器を設置される場合には事前に組合せ評価することをお奨めします。
（６）ワイヤレス電話に対する影響
小電力形のものは問題ありませんが微弱電波形のものでは雑音が入る場合があります。
微弱電波形の電話を使用する場合には事前に組合せ評価することをお奨めします。
（７）誘導無線との干渉
使用周波数がインバータの周波数と近い附周波誘導無線（同時通訳機等）の場合、雑音が入ることがありますので事
前確認することをお奨めいたします。
（８）商品監視システムに対する影響
商品監視システム（防犯センサー等）の１部の機器については、インバータの周波数と干渉して
商品監視システム（防犯センサー等）が誤動作する場合がありますので、事前によくご確認の上ご使用ください。
（９）電力線搬送を使用した機器に対する影響
電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、機器が正常に作動しない場合があります。
電源を分けてご使用ください。

ランプ使用上のご注意

●ご使用の蛍光ランプについて
省電力を目的に設計されたランプにつきましては、10℃以下の場合、始動時に始動時間が長くかかることや、
明るくなるまでに時間がかかること、さらに、ランプ管壁に移動縞（スネーク現象）が発生致します。
ご使用の周囲温度を十分考慮し、蛍光ランプをお選び下さい。
省電力を目的に設計されたランプの型式は、下記になります。
40W蛍光ランプ　…　「FLR40S･･･/36」「FL40SS･･･/37」「FLR40SEX･･･/36」「FL40SSEX･･･/37」
110W蛍光ランプ　…　「FLR110H･･･/100」「FLR110HEX･･･/100」

工事店様へ　お客様の施設の安全で便利な保守のために、施工記録表の各欄に記入し、使用されるお客様にお渡しくださるようお願いします。

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を改造しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
●ランプ交換は、器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認の上行なってください。
ランプ破裂・発火の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなど異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。
●器具直下は非常に高温になりますので照射面との距離は１m以上離してください。
火災の原因となります。

⚠注意

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切り、器具が十分冷えてから行なってください。
やけど・感電の原因となります。
●ランプ交換の際には、取付手順に従って確実に行なってください。
不備がありますと、落下・感電・やけど・発火の原因となります。
●照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日点灯時間10時間点灯、年間3000時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

■保証について

・保証について－この商品の保証期間は1年間です。但し、消耗品は除きます。
・保証書について－保証書が必要な場合は、弊社代理店または営業所へお申し出ください。

お手入れ・ランプ交換　⚠注意（必ず電源を切って行なってください。感電の原因になります。）

●器具の清掃について・・・・・・・・汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞って
ふきとり乾いた布で仕上げてください。
シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたり
しないでください。　変色・変質の原因となります。
●ランプ交換について・・・・・・・・ランプ交換は、器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認の上行なってください。

お客様へ　ランプ交換など保守のために、下表内容をご確認の上、適切な保守用品をお求めください。
なお、安全のために保守作業は、できるだけ工事店にご依頼ください。

保守・点検のために

〈施工記録〉

器具品番		保守作業上の注記
取付年月日		
使用ランプ品番		
使用安定器品番		

商品についてのご相談、お問い合わせは
安定器本体表示の品番、又は型名をご確認の上、お買い上げいただきました、販売店、もしくは下記へご連絡ください。

株式会社アイゼット

本　　社／長野県上伊那郡南箕輪村6201-1　〒399-4511
TEL：0265-71-8822（代）　FAX：0265-71-8800
東京営業所／東京都中央区東日本橋2-1-6 東日本橋藤和ﾋﾞﾙ2F　〒103-0004
TEL：03-5833-8801（代）　FAX:03-5833-8805
福岡営業所／福岡市中央区天神5-10-11 ｲﾄｰﾋﾟｱ天神ﾋﾞﾙ　〒810-0001
TEL：092-738-7270　FAX:092-738-7280
■ホームページアドレス　http://www.iz-inc.co.jp/

取説 No. IZ0005L6-061115